

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立 志木中学校 第 3 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語A	本校の平均正答率(76.4%)で県からは約2ポイント、全国からは1ポイント上回っている。	基本的な漢字を書くことの正答率が全国平均より低く、また熟語をわかりやすく言いかえる問題の無回答率が高い。	文脈に即して正しい漢字を書いたり、熟語の意味を調べたりという地道な学習を大事にする。 また、反復練習を積み重ねる指導を行う。
国語B	本校の平均正答率(68.9%)で県からは約3ポイント、全国からは2ポイント上回っている。	複数の資料から適切な情報を得て、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに課題がある。	具体的な資料や根拠に基づいて自分の考えや意見を話したり書いたりする活動を意図的に取り入れる。また、あらゆる場面で「NO原稿」で自分の思いや考えを述べる習慣をつける。
算数 数学A	本校の平均正答率(67.1%)で県からは約7ポイント、全国からは5ポイント上回っている。	数量の関係を捉え、比例式を表す数学的な技能を問う問題に課題がみられる。	授業の中で、式やグラフの意味するものを書いたり説明し合ったりする言語活動を積極的に取り入れる。
算数 数学B	本校の平均正答率(50.4%)で県からは約7ポイント、全国からは6ポイント上回っている。	与えられた情報から必要な情報を選択・処理する問題の正答率が低く無回答率も高い。また、証明問題にも課題がみられる。	結論を導くまでの見通しを立てたり、着目すべき性質、関係を説明したりする活動を取り入れる。
児童 生徒 質問 紙	・国語、数学の勉強が好きと回答する生徒は、教科に関する正答率が高い傾向にある。	授業の目標の確認や振り返りはよく行われていたが、授業中、自分の考えを発表したり友達と話し合ったりする活動の割合が低い。	授業の中で、思いや考えを発表・表現する時間をこまめに取り入れる。また、対話や話し合い等の言語活動を積極的に取り入れ、交流により理解を深める。

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立 志木中学校 第3学年			
項目	成果	課題	改善策
国語	「話すこと、聞くこと、書くこと」、「読むこと」は、4ポイント以上県の平均正答率を上回る。しかし、「動詞を理解する」事項の平均正答率は、16.2%と市・県下回った。	・活用の種類の理解、識別、可能動詞の理解。	・基礎知識の指導 活用についての基礎知識を活用表を作成させながら指導し、その特徴に気付かせる。
算数 数学	全領域ともに市・県の平均正答率を上回っている。一次関数とグラフを利用してyの変革を求める問題の正答率が高い。	【無回答率が高い問題】 ・一次関数の変化の割合を求め る問題。(23.8%)	・具体的な数量を文字式で表現したり、変化の意味を読みつたりする活動を丁寧に行う授業の展開で理解を深める。
英語 中学校	聞くこと、書くこと各領域は、市・県の平均正答率を上回っている。	【正答率の低い問題】 ・正しく文を組み立てる問題。 (21.1%)	【読むこと】 ・目的を持って読ませる指導。 →手掛かりとなる語句や表現をヒントとしたり、事前に内容を尋ねる質問、設問の仕方を工夫する。 ・情報をたずねる英文の正しい
児童 生徒 質問 紙	・勉強が好きと回答する生徒は、教科に関する正答率が高い傾向にある。	・勉強が好きでないと回答した生徒の正答率が低い傾向にある	・わかる授業の実践のための指導方法の工夫・改善。 ・わかること、できることを蓄積し、学習内容を定着させる。

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立 志木中学校 第2学年			
項目	成果	課題	改善策
国語	全領域ともに市・県の平均正答率を上回っている。	【正答率の低い問題】 ・「著者の主張と対応する具体例を読み取る」問題(11%)、「場面の状況を正しく理解する」問題(5.8%)。	【読むこと】 ①文脈上の重要語句を必ず使用した文章を作成させる。 ②小集団で考えを伝え合い、それぞれが自分の考えを広げたり、深めたりする活動。
算数 数学	全領域ともに市・県の平均正答率を上回っている。その中で、ヒストグラムの特徴の理解に関する問題の平均で市・県を下回った。	【正答率が低く、無回答率が高い問題】 ・小数の逆数を求める ・ヒストグラムからわかることを選ぶ。	【数と式】 ・図、言葉の式、文字式のように段階的に考えられるよう、図に記号を書きこませたり、図を分解させたりして可視化させる。 ・図と文字を関連させた指導を繰り返し行う。
英語 中学校	聞くこと、読むこと、書くことの各領域は、市・県の平均正答率を上回っている。	【正答率の低い問題】 ・登場人物が動作を行う曜日を読み取り、適切なものを選択する。 ・あいさつの表現として適切なものを選択する。 ・相手を勧誘する文を組み立てる。	【読むこと】 ・まとまりのある英文を読んで、理解する力を育成させるため、概要をまとめたり、必要な情報を整理しながら内容を読み取る活動を継続的に行う。
児童 生徒 質問 紙	・学級での生活が楽しかったと回答(90.1%)する生徒は、勉強が大切と回答する傾向がある。	・学級づくりの充実は、学力向上に効果がある。生徒が安心して、居心地の良い学級づくりに取り組むこと。	・生徒間の信頼関係をさらに構築し、学習を深められる雰囲気醸成する。

## 平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名: 志木市立 志木中学校 第1学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	「話すこと、聞くこと、書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する」各事項の平均正答率は、県・市を上回っている。	【無回答率の高い問題】 ・文脈に即して漢字を正しく書く。 ・対象者との関係をとらえ、使う言葉の尊敬語の知識	最重要課題【読むこと】 ①文脈を読み取る中で、手掛かりとなる語句を必ず使用したキャッチコピーや紹介文を考えさせる。 ②読んだことのない文章を予めイメージできるような重要語句を事前に整理させる。
算数 数学	・「数と計算」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4つの領域ともに、市・県の平均正答率を上回っている。	【無回答率が高い問題】 ・平均についての理解。 ・比例のグラフを用いて説明する	①問題解決的な学習の中から数学的な思考力・表現力を育成する。 ②資料を多面的に分析し、その特徴を分かりやすく説明する。
児童 生徒 質問 紙	教員が認めてくれた、どちらからといえば認めてくれた(94.1%)と実感を持つ生徒ほど、自分自身について難しいことでも挑戦していると回答している。	・学習指導、学校生活において、さらに自己有用感や自信をつけさせていくこと。	・生徒を多面的に捉え、自信を持たせる言葉かけや学習に取り組む。